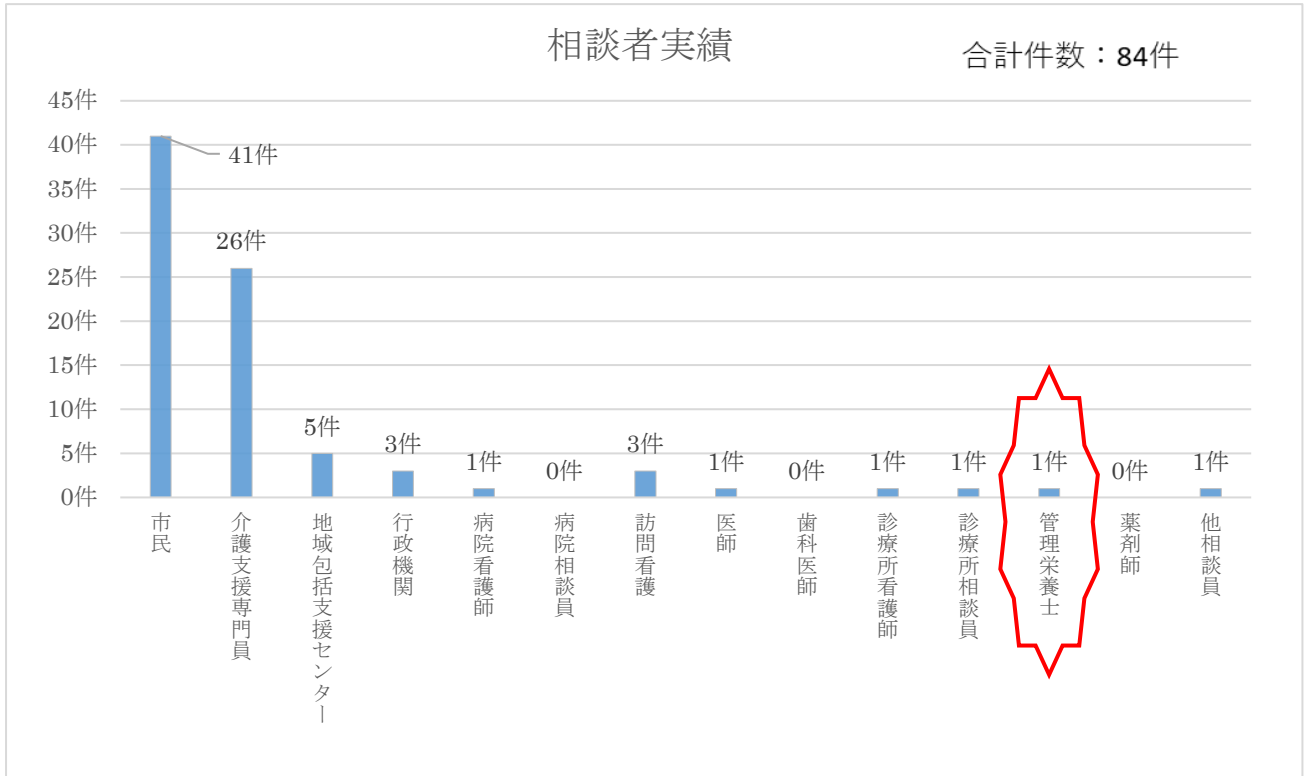


多摩市高齢者在宅療養支援窓口中間実績報告

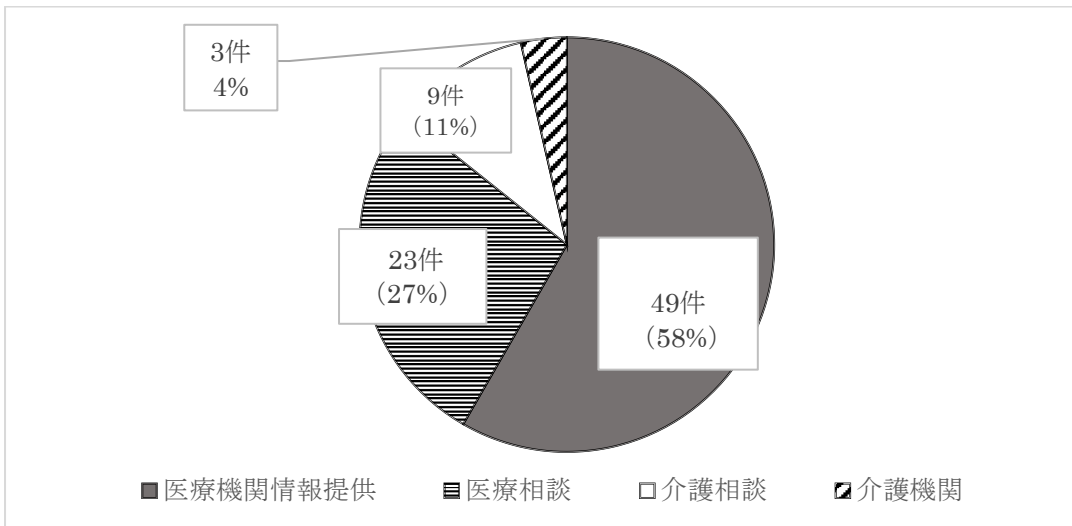
1. 令和5年1月までの相談実績報告 (※令和4年4月1日～令和5年1月31日の実績)



(1) 職種別相談者実数内訳

- ・医療介護関係者からの相談が1月時点で51%
- ・昨年同様に介護支援専門員からの相談が増加している。
- ・今まではなかった管理栄養士からの相談依頼があり、多職種への周知がされてきたと感じる。

(2) 相談内容からみえる現状



【詳細内容】

- ・医療機関情報提供・・・市民、専門職ともに訪問診療や専門の診療科に関する紹介等
認知症と内科や外科などの複数科受診紹介が多い。
- ・疾患に関する内容、医療相談・・・今年度は昨年より医療そのものの相談が27%と多くみられた。
- ・介護相談・・・介護保険サービス等の利用に関すること、地域包括支援センターの紹介等

2. 相談実績と活動からみえる分析と課題

- ・専門職からの相談が増加している。介護支援専門員への窓口についての勉強会実施等から介護支援専門員からの相談が増加している。
- ・はじめて管理栄養士からの相談が有り、市民の方を地域包括支援センターにつなげた。
- ・在宅療養や医療について説明会等の実施により、医療相談そのものの相談が増加した。
- ・専門職も市民からも、専門医療機関や訪問診療可能の医療情報提供が多かった。
- ・新規の事業所などは、コロナ過で、顔の見える関係構築ができにくい状況がある。
- ・近隣5市との連携強化により、市境の方へ相談対応ができた。

(まとめ)

- ・専門職は困難事例への関わり方の医療相談や、市民からは近隣医療機関の紹介、病気に関することや、介護の具体的な方法相談の情報を求めている。
- ・コロナ禍で、顔の見える関係の希薄さがあり、それぞれの役割や連携強化のために、少人数や小組織の連絡会等や他部署役割を理解できる研修会などの必要性があると感じた。

3. 活動報告について

項目	取組の成果および課題について
(1) 情報ツール	<ul style="list-style-type: none">・専門職向けの他科併用可能（内科と認知症等）医療機関の一覧表を作成しホームページ上で閲覧可能にした。・病院相談窓口一覧表を更新作成し医師会ホームページ上で閲覧可能にした。・訪問看護ステーションリストを作成し、医師会ホームページ上で閲覧可能にした。
(2) 普及啓発	<ul style="list-style-type: none">・2022年12月落合ケアマネクラブに「相談窓口について」勉強会実施し、介護支援専門員からの依頼が増加した。・窓口ニュースを6月と12月に作成し、関係機関に配布した。6月号は認知症について、12月号にACPについての内容を入れた。・自治会、老人会、サービス付き高齢者住宅等で「在宅医療について」の話を実施した。
(3) 多職種連携	<ul style="list-style-type: none">・11月9日と2月1日に研修会を実施。（研修部会出席）・5月23日と11月21日に近隣5市（日野、八王子、町田、稲城、多摩）の相談窓口の連携を深める為に相談窓口連絡会をオンラインと対面で実施した。5市の現状や取組、研修方法や広報の方法、地域資源の集約方法、ICTに関する事などが話し合われた。・5市相談員間のMCSグループの活用方法検討近隣の医療情報提供等活用し、相談者への速やかな相談解決につながっている。